

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 27 年 7 月 2 日			
所属学部・研究科	総合科学研究科 2 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	オークランド大学 (国名: ニュージーランド)			
所属学部・学科等名	交換留学用プログラム			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27 年 3 月 2 日 ~ 平成 27 年 6 月 29 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: ニュージーランドビザ申請センター			
	取得方法, 提出書類: オンラインで取得可能。パスポートの写し、大学での成績証明書、留学志望動機書など			
	手続きに要した日数: 約1ヶ月			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27 年 2 月 20 日			
経路	広島空港→羽田空港→成田空港→オークランド空港			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (<u>・大学関係者</u>) ・その他 <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	2月23日に交換留学生用のオリエンテーションが実施され、大学内の施設や活動に関する説明があった。			
帰国年月日	平成 27 年 6 月 30 日			
経路	オークランド空港→成田空港→羽田空港→広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	560,000	円	
	内訳	渡航費	0	円
		保険料	100,000	円
		教科書代(学費)	20,000	円
		宿舍費	240,000	円
		食費	20,000	円
		その他 (費)		円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
1年 1学期	3月 2日 ~	6月 29日		

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	交換留学生用のコースを2つ、教育学部のコースを2つ
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	英語力は留学に行く前につけていくこと
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 不明 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (4 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 600ドル (現地通貨) 約 6万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	同居人と仲良くする
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 100000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	よくわからない

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	日本と同様	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
なし		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 年 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	教員採用試験を受ける予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	単位は1年のときに取得した	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
英語力を事前にどれくらい付けておくかで、留学の成果は変わるでしょう		

学習の概要に関するレポート

今回の留学では HUSA プログラムを利用したため、学費を広島大学に納入すれば派遣先のオークランド大学には払わなくても良いというシステムでした。このシステムの利点は、コース選択の際に余分なプレッシャーがかからないことでした。オークランド大学の学費はきわめて高く、1コース約30万円かかります。HUSA プログラムを利用していたことで、コースは自分の興味に従い柔軟に選ぶことができました。

コースは4つ受講しました。そのうち2つは留学生向けコース（英語を勉強するコース）であり、残りの2つは専門（教育）のコースでした。前者に関しては、授業の進度も遅く、あまり問題になりませんでした。一方、後者に関しては、母語話者を対象としているため、課題や予習教材の分量もすさまじく、自分の実力が伸びているのを感じました。これらの授業は講義とチュートリアルという二つの部分で構成され、講義は日本の大学と同じように教授の話の話を聴いていけばいいだけなのに対して、チュートリアルに関しては講義の内容を自分の言葉でまとめ、他人に伝えなければならないので、負荷は相当なものでした。最初のころは講義時の英語のスピードが速すぎて内容が聞き取れないため、予習教材をしっかりと読み込み、トップダウン処理（話されるであろう内容をあらかじめ予測して聴く）を駆使して内容を理解しようと努めました。ニュージーランドで話される英語は極めて速く、すべての単語を聞き取って意味を構築するというボトムアップ処理は短い期間の滞在ではまず不可能です。

自分の英語力には不安を感じていたため、英語のコミュニケーションを練習できる場所を探しました。オークランド大学には ELE (English Language Enrichment) という場所があり、そこでは週に3回交換留学生向けの会話セッションを行っています。それに加えて、母語話者と話すセッションも週2回用意されているので、意欲さえあれば週5回英会話の練習をすることができます。私は週に平均3回くらい参加していました。このセッションでは、担当者がトピックを用意してくれるので、様々なことについて話すことができ、語彙や表現力も広がりましたし、なにより毎回新しい人と話すため、友達もできました。

授業で得た最も有益なアイデアは、教育心理学のコースで学んだ **mastery goal** と **performance goal** についての内容でした。前者は「自分の能力の向上」を目指す志向であるのに対して、後者は「他人に評価されること」を目標にします。長期的に見ると、前者の志向を持つ人の方が能力の伸びが大きく、学習ストラテジーもより有効なものを使用することが分かっています。留学中に、どちらかという私は **performance goal** を持っていたことに気づきました。英語力を他の留学生と比べたからこそ、留学生向けのコースを受講したのです。しかし、授業で **mastery goal** を持つ人の考え方を学んだとき、その内容に衝撃を受け、こちらの志向を持つように努めました。大きく自分の生き方を変えてくれるこの考えに出会えたことは、オークランドで学んだ最高の成果の一つです。

生活の概要に関するレポート

今回の留学で最も苦労したことは家探しでした。ニュージーランドでの一般的な学生用の住まいはフラットと呼ばれ、キッチン、バスルームなどを4～5人の他人とシェアするのが普通です。私は学生寮に申し込むのが遅く、学生寮には住めませんでした。学生寮に住みたいのであれば、少なくとも3ヶ月前には申し込んでおくことを強くお勧めします。最初の1週間はYMCAというホステルに宿泊し、現地で家を探しました。しかし、英語のサイトで捜したこともあって、色々難しいことが多く、なかなか見つかりませんでした。最終的には、日本語のサイト（NZ daisuki）で日本人と一緒に住むフラットを見つけました。正直、ここでは大きな妥協をしました。なぜなら、英語を練習する環境として日本人フラットは適当ではないと考えていたからです。しかし、留学を終えて振り返ってみると、日本人フラットに住んでいたからこそ大きな成果を挙げられたと感じています。私はオークランドで日本人のコミュニティにも所属していましたが、その中でこのように言っている方がいました。「外国人と一緒にいること」と「英語の使用機会が豊富にあること」は同義ではないということです。つまり、外国人と住んでいても、個人個人でそれぞれの生活があり、フラット内で深く関わることはあまり無いということです。私は日本人と住んでいたため、家でストレスが溜まらないぶん、外では様々な活動に参加して多くの英語を話すことができました。当然、外国人と住むのを否定するわけではありませんが、住まいに関してはストレスの少ない環境を選ぶべきではないか、というのが私の意見です。

ニュージーランドの物価は日本の1.5倍前後と高く、外食はあまりしませんでした。スーパーには米が安価で売っているので、それを買って基本的に3食すべて自炊していました。複数のスーパーがあり、野菜や日用品などの値段が大きく違ったりするので、様々な人から情報を聞き出しておくことが重要になります。また、クレジットカードがほとんどの場所で使用できますが、現金でしか払えない場所もあります。私は家賃が現金限定だったので非常に苦労しました。自分のカードにキャッシング機能がついていることを確認しておくことをお勧めします。

オークランドには教会が数多くありますが、一度訪ねてみることをお勧めします。私はクリスチャンではありませんが、オークランドの教会はそのような人でも優しく受け入れてくれる寛容さがあります。ここでは聖書を使った英語の勉強や、無料で提供されるランチの場で様々な国籍の人と交流できる機会があります。私はここで多くの人と知り合い、郊外にドライブに連れて行ってもらったりしました。4ヶ月間通いましたが、信教を勧められたことは一度もありません。教会は私の留学生活を支えてくれた非常に重要な場所だったように思います。